

# アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

## コロナ禍の少年少女サッカーは？

コロナ禍となり 2 度目の春を迎えました。欧米諸国に比べれば低い感染被害状況ですが、まだまだ収束にはほど遠い現状が続いています。3 月には一旦緊急事態宣言解除となり、各学校での活動が可となりホッとしのも束の間、首都圏の感染状況拡大により、まん延防止等重点措置が発令され、ここへ来て変異コロナウイルスの感染拡大により関西方面だけでなく東京都にも再々度の緊急事態宣言が発令されるなど、全く予断を許さない状況が続きます。

このような状況の中、令和 3 年度北ライオンズ杯を、交流戦という形式ではありましたが開催することができ、一人のコロナ感染者も出さずに終わることができましたことは、ひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。各クラブの感染防止対策へのご協力ありがとうございました。また、運営の面でも国分川調節池グラウンドの設営には、中央支部の方々を中心に、多くの方々のご協力くださりありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

3 日間に渡り、4、5、6 年の各会場の試合を観戦しましたが、晴天の下、久しぶりの大会にサッカーに興じる多くの子ども達の笑顔が印象に残りました。と同時に、試合慣れしているチームとそうでないチームの格差を感じました。市川市ではしばらくの間、学校施設での対外試合を含めた活動ができませんでしたので、学校外で活動ができた他市に赴いて試合ができたクラブとの差がでているのだと感じました。課題の一つだと強く思いました。



さて、令和 3 年度の運営方針等につきましては、「令和 2 年度末確認事項」をご覧いただきたいと思いますが、加えてまた改めて、コロナ禍の少年少女サッカーの活動、運営について共通理解を図りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

**「子ども達にとってサッカーは不要ではない。感染防止を徹底しつつ、不急かどうかはその都度状況をよく考えていく。」**

委員長通信No.26でもお話ししましたとおり、しばらくは基本的にこの考えでいきます。ですので、シンプルに子ども達がサッカーのできる環境を整えることを第一義とし、それに伴う様々なことを感染防止の視点から見直して削ぎ落とし、しかも徹底して行って参りたいと思います。

特に以下については、先の北ライオンズ杯でもお願いしたところですが、【4 種委員会のコロナ禍での約束】として、今後しばらくの間、大会や練習試合等で徹底したいと思います。

### 【4 種委員会のコロナ禍での約束】

#### (1) 試合開始から終了までの流れについて

- ① 当日の自宅での検温に加えて、会場到着後、試合開始までに、再度非接触型体温計等で検温し、体調の最終確認をする。

- ② 試合前後の整列、握手を行わない。※試合前時に両キャプテン、主審のみ集まり陣地を決定する。
- ③ 選手はキックオフ前に各ベンチより各ポジションに配置し準備する。
- ④ 試合終了時、選手はその場からベンチへ引き上げ、即ベンチから撤収する。
- ⑤ ベンチ内の監督、控え選手はソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、密着しない。  
※ベンチ内は全員マスクの着用を義務とする。但し、出場選手、審判は着用を自由とする。
- ⑥ 監督やコーチの大きな声での指導や指示、選手の大きな声での応援は禁止とする。
- ⑦ 試合終了後、両チームは使用したベンチを消毒する。※会場に準備がない場合は本部と協議
- ⑧ 飲水用の容器は選手個人専用、審判員専用の水筒を一人1本準備する。  
※飲水用のペットボトル、氷単体、クーラーボックスは持ち込みを禁止する。

## (2) 保護者の観戦について

- ・保護者の観戦は不可。原則として登録選手全員とベンチ入りする3名の監督、コーチとのみ可とする。加えて、会場までの移動手段が車の場合は運転手の方、公共交通機関等で移動の場合は引率者を可とするが、マスクを常に使用し、会話を控え、密を避けること。なお運転手、引率者の上限数は各要項等で確認する。

## (3) 会場での飲食について

- ・会場内での飲食のうち、飲むことは可とするが、水筒等を一人一本用意し、回し飲みは禁止。また、食べることは感染拡大の危険があるため、厳禁とする。
- ・このため、大会等は午前午後を跨がない形で計画する。

このような形で徹底して感染防止をし、感染「0」を目指したいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。特に保護者の方はお子さんの試合の様子をご覧になれず誠に恐縮ですが、ここは我慢していただき、お家に帰ってから様子を尋ねるなど、親子の会話の一つにしていいただければと思います。

また、先ほどコロナ禍の2度目の春と申し上げましたが、昨年度は様々な条件のもと、感染防止を考慮しつつ、大会の運営やサッカー教室の事業等、先行きが見えない中、出来る限り子ども達のためにと取り組んで参りました。しかし、反省すべき点多々ございましたので、これを生かして参りたいと思います。

昨年度の反省すべき点の一つは6年生の活動があまりにも少なかったこと。6年生は松木杯交流戦だけしかできませんでした。今一つは1, 2年生の活動が全くできなかったこと。各学校施設が対外試合禁止のため、3年生以下のわんぱくサッカー大会が開催できませんでした。

これらの教訓として強く残ったことは「**グラウンドが使える時に効果的に使う**」です。私たちが感染防止を徹底して行っても、いつまた学校や市の施設が使えなくなるかわかりません。使用できる時に効果的に使うこと、そしてまず6年生、次に3年生以下を優先することを重点に取り組みたいと思います。さらに、北ライオンズ杯で判明した「試合慣れの格差」という新たな課題に対しても取り組んで参りませぬ。

つきましては、「令和2年度末確認事項」の**会場関係**【**広尾防災公園「健康広場」(人工芝グラウンド)の使用について**】にもありますように、このグラウンドは、第1, 3, 5の日曜日には4種委員会としての取り組みに使用することとしますが、上記のような教訓、課題を踏まえ、効果的に使用して参りますので、4種委員会全ての関係者のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、各クラブ代表者の方々におかれましては、3月に開催した令和3年度第一回代表者会議にご参集下さりありがとうございました。お陰さまで、何とか本年度のスタートを切ることができました。今後も、なかなかオンラインでの代表者会議開催とはいかず、協議内容によりお集まりいただくこともあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。